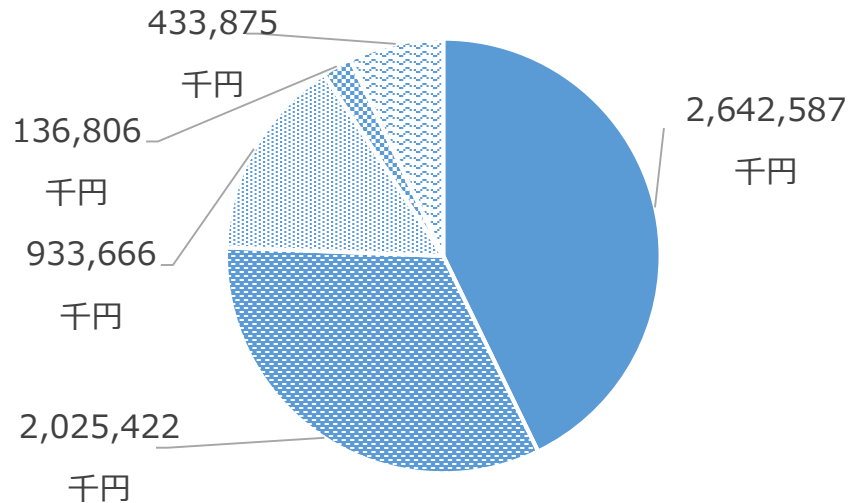


本市の介護サービスの状況

令和3年度介護サービス給付見込額

合計

約61億7,000万円



■ 居宅サービス ■ 施設サービス ■ その他介護給付
■ 予防給付 ■ その他サービス費

老年人口の割合（高齢化率）

令和3年1月1日現在

埼玉県	行田市	加須市	羽生市	鴻巣市	飯能市
26.5%	31.6%	29.8%	29.8%	29.9%	31.6%

埼玉県「統計からみた埼玉縣市町村のすがた」より

65歳以上の被保険者一人当たりの保険給付月額（円）

令和3年（埼玉県及び近隣等）

埼玉県	行田市	加須市	羽生市	鴻巣市	飯能市
19,191	18,823	19,966	21,918	17,553	18,395

厚生労働省「地域包括ケア「見える化」システム」より

他自治体との比較から見た本市の介護サービス全体の状況

- 各自治体の高齢者数や後期高齢者割合に相違があり、単純比較はできないが、**埼玉県、近隣他自治体、類似自治体（飯能市）と比較すると、一人当たりの保険給付月額は、埼玉県平均を下回り、鴻巣市、飯能市に次いで少ない**

本市の介護サービスの特徴と第8期計画のポイント

本市の介護サービスの特徴

厚生労働省「地域包括ケア「見える化」システム」より

① 在宅サービスの利用が多い

- 受給者一人当たりの給付月額（円）
※令和3年

埼玉県平均	行田市
115,913	127,941

② 施設サービス利用率は県平均と同程度

- 施設サービス受給率（%）
※令和3年

埼玉県平均	行田市
2.5	2.6

※近隣市、類似自治体と比較しても低い状況

特徴と計画の方向性

- 在宅サービスを利用しながら在宅生活を継続している高齢者が多い
- 高齢者の在宅生活の限界点を高め、増え続ける高齢者をできる限り地域で支えていく「地域包括ケアシステム」の理念の実現が必要

- 理念の実現を通し、保険給付費の上昇抑制、介護保険料の上昇抑制を図る
- 進展する高齢化の中でも、介護保険制度の持続可能性を確保する

本市の介護サービスの特徴と第8期計画のポイント

本市の在宅介護サービスの特徴

厚生労働省「地域包括ケア「見える化」システム」より

① 在宅系サービスの中では
デイサービス事業所が多い

○人口10万に当たりの事業所数
※平成30年時点

埼玉県平均	行田市
15.8	19.7

② デイサービスの利用者
一人当たりの給付額も高い

○デイサービス受給者一人当たり
給付月額（円） ※令和3年

埼玉県平均	行田市
88,347	95,814

③ 週1回以上の
通いの場がない

○週1回以上の通いの場箇所数
※平成30年

行田市	加須市	羽生市	鴻巣市
0	7	30	26

特徴からみる課題

- 地域における高齢者の居場所がない（週1回以上の通いの場がない）
- そのため、状態が軽度な方や状態が改善した方の受け皿が少ない
- 結果的にデイサービス事業者がその受け皿となっている

課題への対応と重点目標

- 比較的元気な高齢者の通いの場（重点目標1、2）の充実が必要
- 役割、生きがいなど介護予防に資する活動、取組の充実も必要（重点目標3）